



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年10月29日

上場会社名 カーディナル株式会社
 コード番号 7855 URL <https://www.cardinal.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長
 四半期報告書提出予定日 2020年11月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 山田 弘直
 (氏名) 宮家 正行
 TEL 06-6934-4141

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	395	35.4	69		36		38	
2020年3月期第2四半期	612	10.3	25	0.7	30	4.3	15	48.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	19.02	
2020年3月期第2四半期	7.47	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	2,816		2,289		81.3	1,124.42
2020年3月期	2,966		2,322		78.3	1,140.96

(参考)自己資本 2021年3月期第2四半期 2,289百万円 2020年3月期 2,322百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		7.00		7.00	14.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	840	30.2	80		32		42		20.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	2,143,000 株	2020年3月期	2,143,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	107,245 株	2020年3月期	107,245 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	2,035,755 株	2020年3月期2Q	2,035,755 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.2.「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う国内外の経済活動の停滞や縮小により、個人消費及び企業収益の急速な減少に加え、雇用情勢の弱さも増したことにより、景気は悪化しており極めて厳しい状況となっております。

当社は幅広い業種の全国の顧客が利用するカードを製造しており、それらは全国の販売代理店から受注しております。当社が製造しているカードの殆どが顧客が携帯して利用するカードで、また消耗品であり、かつ日本国内を市場としており、人や物の動向、景気の変動、個人消費のマインドの低下、人口減少などの影響を受けません。新型コロナウイルス感染症の影響により消費の減退が見込まれ、影響が強く懸念される状況に変化はありません。

このような状況下において当社は営業部門では安定的な収益を確保するためには販売代理店の確保が重要課題であるとの認識のもと、印刷関連の展示会は元より販売促進関連の展示会への出展はコロナ禍の折、イベントの自粛要請もあり中止となりましたが、ダイレクトメールやメールなどにより新規販売代理店の確保を推進し、既存の販売代理店に対しては、当社開発の受注管理システム「G R I P経営ナビ」を使って過去の受注履歴を抽出し、電話・ファックス・メール等でリピートの案内で推進いたしました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、今までにない仕事の在り方、生活形態の変化が問われるコロナ禍の折、インターネット（Web）上でのCardMarket.jp（サテライトオフィス）でお問合せ・お見積り・資料請求・リモート相談（チャット）等を完結できるよう拡張し、東京支社の管轄で今年度中にリブランディングを図り、Web事業部化を目指し、B to Bに特化した競合他社にもない新しいサービスを創作し、新規販売代理店の開拓を中長期的に進めてまいります。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高が395,799千円と216,907千円（前年同期比35.4%減）の減収となり、営業損失は69,950千円（前年同期は25,447千円の営業利益）、経常損失は36,673千円（前年同期は30,846千円の経常利益）、四半期純損失は38,727千円（前年同期は15,214千円の四半期純利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期末の流動資産は、現金及び預金が14,999千円増加しましたが、受取手形及び売掛金が141,282千円減少したこと等により、前事業年度末に比べて85,703千円減少し1,691,393千円となりました。固定資産は、投資有価証券が28,589千円、機械及び装置が25,128千円減少したこと等により、前事業年度末に比べて64,303千円減少し1,125,174千円となりました。この結果、資産は前事業年度末に比べて150,006千円減少し2,816,567千円となりました。

(負債)

当第2四半期末の流動負債は、支払手形及び買掛金が53,412千円減少したこと等により、前事業年度末に比べて87,819千円減少し215,946千円となりました。固定負債は、長期借入金が27,996千円減少したこと等により、前事業年度末に比べて28,519千円減少し311,568千円となりました。この結果、負債は前事業年度末に比べて116,338千円減少し527,515千円となりました。

(純資産)

当第2四半期末の純資産は、利益剰余金が52,977千円減少したこと等により、前事業年度末に比べて33,668千円減少し2,289,051千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月27日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,341,632	1,356,631
受取手形及び売掛金	308,207	166,925
電子記録債権	30,343	29,441
商品及び製品	52	52
仕掛品	33,910	37,765
原材料及び貯蔵品	64,428	71,923
その他	1,229	30,224
貸倒引当金	△2,708	△1,570
流動資産合計	1,777,096	1,691,393
固定資産		
有形固定資産		
建物	964,761	965,286
減価償却累計額	△753,613	△759,760
建物(純額)	211,147	205,525
機械及び装置	1,146,169	1,149,849
減価償却累計額	△890,219	△919,028
機械及び装置(純額)	255,949	230,821
土地	272,988	272,988
その他	179,013	182,224
減価償却累計額	△156,398	△161,188
その他(純額)	22,614	21,036
有形固定資産合計	762,700	730,371
無形固定資産		
その他	4,702	5,858
無形固定資産合計	4,702	5,858
投資その他の資産		
投資有価証券	133,428	104,838
保険積立金	189,649	191,621
繰延税金資産	95,809	89,297
その他	3,301	3,411
貸倒引当金	△114	△224
投資その他の資産合計	422,074	388,944
固定資産合計	1,189,477	1,125,174
資産合計	2,966,574	2,816,567

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	158,390	104,977
短期借入金	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	55,992	55,992
未払金	13,857	11,556
未払法人税等	12,337	3,046
賞与引当金	14,200	15,600
その他	38,988	14,773
流動負債合計	303,765	215,946
固定負債		
長期借入金	106,018	78,022
再評価に係る繰延税金負債	2,366	2,366
退職給付引当金	171,748	170,308
役員退職慰労引当金	59,033	59,950
資産除去債務	921	921
固定負債合計	340,088	311,568
負債合計	643,853	527,515
純資産の部		
株主資本		
資本金	323,200	323,200
資本剰余金	100,600	100,600
利益剰余金	2,051,466	1,998,488
自己株式	△43,010	△43,010
株主資本合計	2,432,255	2,379,277
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△30,594	△11,285
土地再評価差額金	△78,940	△78,940
評価・換算差額等合計	△109,535	△90,225
純資産合計	2,322,720	2,289,051
負債純資産合計	2,966,574	2,816,567

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	612,707	395,799
売上原価	449,389	341,234
売上総利益	163,317	54,565
販売費及び一般管理費	137,869	124,515
営業利益又は営業損失(△)	25,447	△69,950
営業外収益		
受取利息	3,311	3,027
受取配当金	1,674	1,454
受取賃貸料	30	915
その他	952	28,282
営業外収益合計	5,968	33,679
営業外費用		
支払利息	424	357
その他	145	44
営業外費用合計	569	402
経常利益又は経常損失(△)	30,846	△36,673
特別利益		
投資有価証券売却益	269	-
特別利益合計	269	-
特別損失		
投資有価証券評価損	6,501	-
投資有価証券売却損	-	17,396
特別損失合計	6,501	17,396
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	24,614	△54,069
法人税等	9,399	△15,341
四半期純利益又は四半期純損失(△)	15,214	△38,727

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	24,614	△54,069
減価償却費	46,520	40,404
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,291	△1,439
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,920	916
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△398	△1,027
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,600	1,400
受取利息及び受取配当金	△4,985	△4,482
支払利息	424	357
投資有価証券売却損益(△は益)	△269	17,396
投資有価証券評価損益(△は益)	6,501	-
売上債権の増減額(△は増加)	38,283	145,267
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,332	△11,349
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,822	△53,412
未払消費税等の増減額(△は減少)	17,842	△23,638
その他	△14,634	△15,047
小計	116,219	41,276
利息及び配当金の受取額	4,759	4,181
利息の支払額	△450	△348
役員退職慰労金の支払額	△29,068	-
法人税等の支払額	△413	△9,557
法人税等の還付額	9,391	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	100,437	35,551
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△124,692	△11,143
ソフトウェアの取得による支出	△1,910	△2,445
投資有価証券の取得による支出	△300	△600
投資有価証券の売却による収入	1,437	37,915
保険積立金の積立による支出	△3,107	△3,046
保険積立金の解約による収入	1,295	1,075
投資活動によるキャッシュ・フロー	△127,277	21,754
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100,000	-
長期借入金の返済による支出	△37,179	△27,996
配当金の支払額	△14,218	△14,311
財務活動によるキャッシュ・フロー	48,602	△42,307
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	21,762	14,999
現金及び現金同等物の期首残高	1,306,682	1,341,632
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,328,444	1,356,631

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。